

緊急時の対応について

1 事故発生時の対応について

- ① 初期対応・報告 ・教職員に応援を要請し、管理職に連絡する。緊急の場合はすぐに救急車を要請する。
- ② 保護者への連絡 ・医療機関への搬送前に保護者に連絡し、事故の概要を伝達する。移送手段と受診医療機関について打ち合わせを行う。
- ③ 医療機関への搬送 ・**必ず医療機関へ連絡をした上で搬送する。**連絡の際に、「学校名、現在の状況、生徒の氏名・性別・生年月日」を伝達する。安静を保ち、慎重に搬送する。

大島医療センター	学校医：清水医師 04992-2-2345 (代表) 04992-2-2346 (予約専用)
岡山歯科(校医)	学校歯科医：岡山医師 04992-2-4747

- (1) 保護者に学校への来校を依頼し、保護者に引き渡す。
(2) 学校から教職員の付き添いで医療機関へ連れていく。

<医療機関受診の目安>

頭部打撲・外傷、眼の打撲・外傷、鼻の打撲・外傷、歯牙損傷（脱臼・破折）、歩行困難な外傷、骨折や脱臼の疑い、止まらない出血、強い痛みの症状

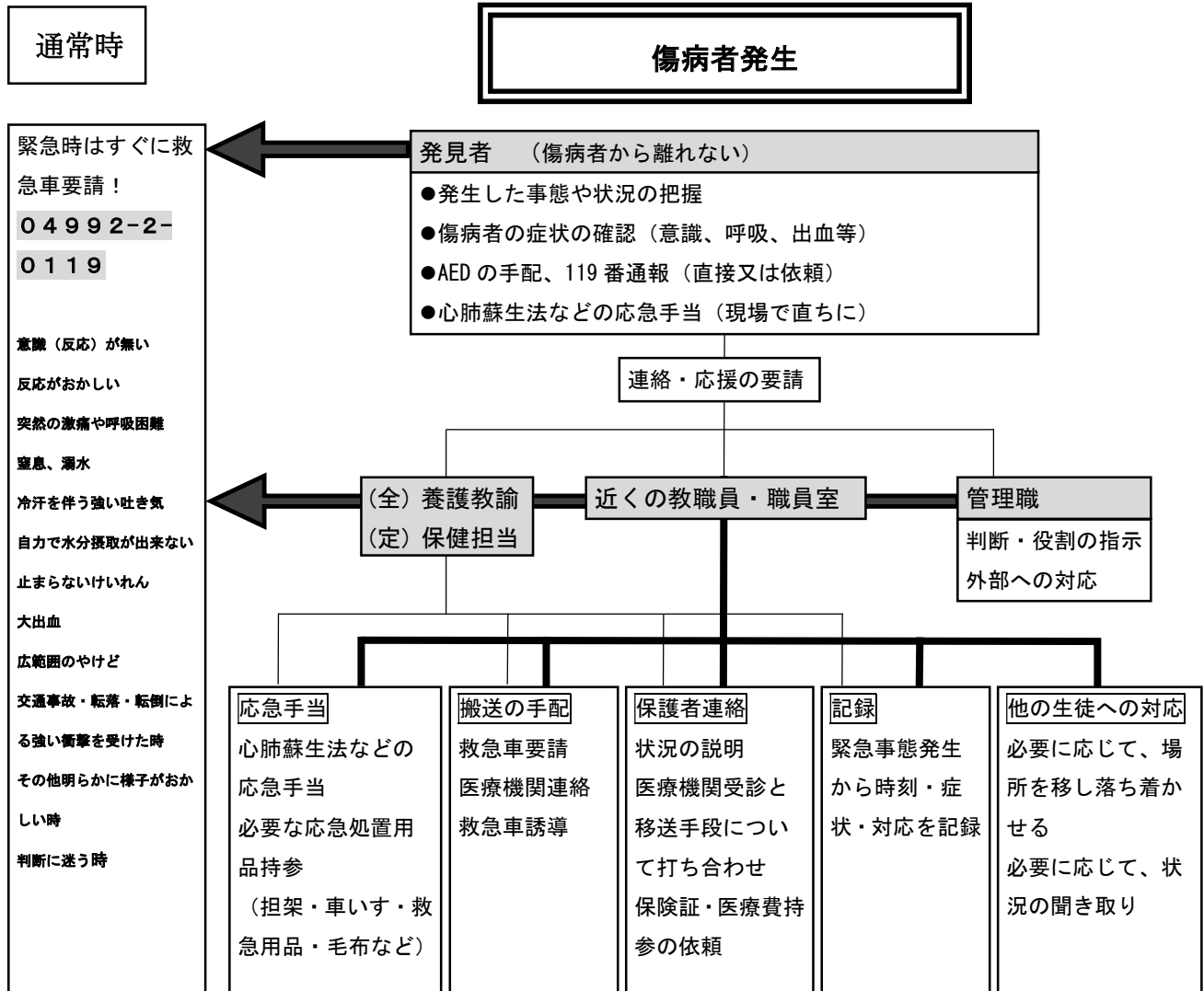
- ④ 救急車要請 ・緊急の場合はすぐに救急車を要請する。**(04992-2-0119)**
「**救急です、学校名、連絡者の名前、搬送する生徒の状況(人数、年齢、性別、何が起こったか、現在の状況)、救急車到着までの指示を確認**」
折り返しの電話対応のため、経営企画室に救急車を要請したことを伝達する。
- ・救急隊の現場への誘導役に、校門の前に1人立つ。
 - ・救急車到着後、応急手当の内容や容態の変化等を伝達し、状況を把握している教職員が添乗する。※保護者の連絡先、現金を持参する。

<救急車要請の目安>

意識（反応）が無い、反応がおかしい、突然の激痛や呼吸困難、窒息、溺水、冷汗を伴う強い吐き気、自力で水分摂取が出来ない、止まらないけいれん、大出血、広範囲のやけど、交通事故・転落・転倒による強い衝撃を受けた時、その他明らかに様子がおかしい・判断に迷う時

- ⑤ 災害共済給付金の申請 ・学校管理下での事故や災害の場合、独立行政法人日本スポーツ振興センター加入者は、月の窓口負担が1500円を超える場合に、災害共済給付金の申請ができる。本人または保護者が、担任や保健室へ申し出て、必要な手続きを行う。
- ・PTA「都立P連の総合補償制度」への申請は、保護者が直接電話し手続きを行う。

2 救急体制



人手を集め、対応は手分けして、臨機応変に行う

担架 … 保健室前廊下

AED … 職員室前廊下、格技棟1階

救急用品 … 保健室、(全)職員室の養護教諭席、(定)職員室保健ロッカー

休日・休業中

傷病者発生

緊急時はすぐに救急車要請！

04992-2-0119

意識（反応）が無い
 反応がおかしい
 突然の激痛や呼吸困難
 窒息、溺水
 冷汗を伴う強い吐き気
 自力で水分摂取が出来ない
 止まらないけいれん
 大出血
 広範囲のやけど
 交通事故・転落・転倒による強い衝撃を受けた時
 その他明らかに様子がおかしい時
 判断に迷う時

発見者（傷病者から離れない）

- 発生した事態や状況の把握
- 傷病者の症状の確認（意識、呼吸、出血等）
- AEDの手配、119番通報（直接又は依頼）
- 心肺蘇生法などの応急手当（現場で直ちに）

連絡・応援の要請

職員室・管理職・部活顧問・日直・担任等

応急手当
 搬送の手配
 保護者連絡
 記録
 他の生徒への対応

校外

傷病者発生

緊急時はすぐに救急車要請！

04992-2-0119

意識（反応）が無い
 反応がおかしい
 突然の激痛や呼吸困難
 窒息、溺水
 冷汗を伴う強い吐き気
 自力で水分摂取が出来ない
 止まらないけいれん
 大出血
 広範囲のやけど
 交通事故・転落・転倒による強い衝撃を受けた時
 その他明らかに様子がおかしい時
 判断に迷う時

発見者（傷病者から離れない）

- 発生した事態や状況の把握
- 傷病者の症状の確認（意識、呼吸、出血等）
- AEDの手配、119番通報（直接又は依頼）
- 心肺蘇生法などの応急手当（現場で直ちに）

連絡・応援の要請

近くの教職員

連絡

職員室・管理職
 （全）養護教諭
 （定）保健担当

応急手当
 搬送の手配
 保護者連絡
 記録
 他の生徒への対応

状況に応じて
 近隣の場合は
 現場へ急行